

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成30年4月2日
【会社名】	株式会社リニカル
【英訳名】	Linical Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 秦野 和浩
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区宮原一丁目6番1号
【電話番号】	(06)6150-2582
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 高橋 明宏
【最寄りの連絡場所】	大阪市淀川区宮原一丁目6番1号
【電話番号】	(06)6150-2582
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長 高橋 明宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社の米国における完全子会社であるLINICAL USA, INC.（以下「米国リニカル社」といいます。）は、2018年3月27日（日本時間）、両社の取締役会において、米国リニカル社が子会社取得（Accelovance, Inc.（以下「Accelovance社」といいます。）の発行済み株式の100%取得）を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第16号の2の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 子会社取得の決定に関する事項

当社及び米国リニカル社の各取締役会において、2018年3月27日（日本時間）、取得対象子会社の取得を決定いたしました。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得を行う連結子会社の名称、住所及び代表者の氏名

商号 : LINICAL USA, INC.
住所 : 68 Third Street, Brooklyn, New York 11231, USA
代表者の氏名 : CEO, Isao Sakamoto

(3) 取得対象子会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号 : Accelovance, Inc.
本店の所在地 : 2275 Research Blvd., Suite 700, Rockville, MD 20850, USA
代表者の氏名 : President & CEO, Stephen J. Trevisan
資本金の額 : 108千米ドル
純資産の額 : 22,192千米ドル
総資産の額 : 29,494千米ドル
事業の内容 : 医薬品開発業務受託事業

(4) 取得対象子会社の最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、税引前当期純利益及び純利益

（単位：千米ドル）

決算期	平成27年12月期	平成28年12月期	平成29年12月期
売上高	37,163	37,035	27,076
営業利益又は営業損失（ ）	6,243	1,114	5,939
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失（ ）	6,243	1,114	13,053
当期純利益又は当期純損失（ ）	4,364	302	7,617

（注）取得対象子会社は平成29年12月期に一部事業を売却しております。各事業年度の売上高、営業利益又は営業損失、税引前当期純利益、当期純利益は当該事業に関する金額を含んだ金額を記載しております。

(5) 取得対象子会社の当社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき資本関係はありません。
人的関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係 当社及び連結子会社と取得対象子会社との間には、記載すべき取引関係はありません。

(6) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

昨今、医薬品開発の国際競争は益々過熱しており、いち早く多国間で承認・販売を勝ち得る為に、グローバル開発が主要な戦略となっております。当社では、このような医薬品開発の環境変化や製薬会社のグローバル開発ニーズに対応すべく、米国、韓国、台湾等での海外子会社の設立や、韓国、欧州での企業買収を通じて医薬品の国際開発体制を整備して参りました。

北米地域は、全世界における最大の医薬品市場及びCRO市場であり、CRO市場の全世界売上高の約45%を占めております。

Accelovance社は、米国を拠点に、米国、欧州、中国において当社グループが注力しているがん領域の臨床試験を含め、グローバル大手製薬企業や製薬ベンチャー企業に対する国際共同試験をはじめとする豊富な試験の実施経験を有しております。また、ワクチン領域ではWorld Vaccine Congress で2009年、2010年、2011年に3年連続で「Vaccine Industry Excellence (ViE) Best CRO」に選出されるなど、極めて高品位のCROサービスを提供して

ります。このようなAccelovance社の事業戦略は当社グループの事業戦略にも合致し、当社グループとの相乗効果が期待されます。

今回の米国リニカル社によるAccelovance社の子会社化により、製薬会社の北米を含むグローバル開発ニーズに対する当社グループの対応能力が飛躍的に向上します。また、Accelovance社は、米国以外に、欧州地域では英国、オランダ、ルーマニアに、アジア地域では中国に子会社を有しており、日本、米国、欧州を中心とする製薬会社からのグローバル開発案件の受託において大きな相乗効果が得られるものと判断しております。また、中国子会社は当社台湾子会社との協業による相乗効果も含め、当社グループの中華圏での事業展開を進める上でも大きな足掛かりとなると判断しております。

以上の理由から、当社の中長期的な業容拡大に加え、当社の株主にとっての価値向上に寄与するものと考え、本件子会社取得を実施することと致しました。

(7) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

Accelovance, Inc.の普通株式	3,360百万円(注)
アドバイザリー費用等(概算額)	110百万円
合計(概算額)	3,470百万円

(注) 1ドルを105円として計算しております。

以 上